



ながやと

渋谷区立長谷戸小学
校
令和2年11月号

どんぐりの贈り物

校長 佐藤 公信

季節は移ろい、秋色が日一日と濃くなってまいりました。

学校では、グリーン スポーツ フェスティバルが目前に迫り、子どもたちは心を弾ませています。緑鮮やかな校庭芝生で、子どもたちの歓声が生き生きと響き渡ります。体育学習の発表会として、日頃の体育学習での取り組みをみんなに伝えられると、私も楽しみにしております。

先日、3年生の社会見学がありました。区役所、ネクタイ工場、白根郷土博物館、代々木公園などを巡りました。帰校時、校庭で子どもたちを迎えたところ、ある子から、「校長先生、これお土産」と言って、代々木公園で拾ったというどんぐりをもらいました。それはそれは、小さなかawaiiいどんぐりで、思わぬお土産に思わずうれしくなりました。この子は、どのような気持ちから、お土産をくれたのでしょうか。手に取ると、代々木公園が秋に包まれている様子が目に浮かびました。そして、それ以上にこのどんぐりをくれた子どもの温かな気持ちが伝わってくるのです。物を贈る人と、もらう人。物を贈る人は、贈る相手のことを想像しながら選んでくれるのでしょうか。

「相手（友だち）が喜ぶことを、自分の喜びにできる子」

私が学級担任時代に、尊敬する先輩教員が常々おっしゃっていた言葉です。今でも、長谷戸小学校の児童みんなが、このような子どもに育ってほしいと思う気持ちに変わりはありません。

後期から、たてわり班活動が始まりました（全16回の予定です）。班は、全校児童を8班に分けて編成して、朝8:20～35の15分間の活動です。校庭で、体育館で、教室で、6年生が考えた遊びを行います。班のみんなが仲良く楽しみ、時には助け合ったり、勇気づけたりし合いながら、温かい人間関係を築き、向上させることを目指しています。

10月のたてわり班活動でも、6年生は、みんなが楽しめるような鬼ごっこやリレーなど、様々な企画を立ててくれました。活動中もみんなの笑顔が見られるようにと、指示を出したり、声掛けしたりして、常に気を配りながらリーダーシップを発揮しました。そのような姿を見ると、大変頼もしく思います。これからのたてわり班活動も、とても楽しみです。

さて、再び先程のどんぐりの話です。どんぐりは校長室にあり、私は毎日見入っています。どんぐりを見るたびに、この中にたっぷり詰まっている思いやりの気持ちと、代々木公園の秋の光景が思い浮かびます。